

“好き”のカタチ

～アンケート調査からみえてきた
高校生のデートDV～



パープルのリボンには、DVや虐待などの暴力にNO!を伝えるシンボルです。
パープルのリボンを身につけているあなたを見て、誰にも相談できずに暴力を受けている女性たちに勇気を与えることができます。



“好き”のカタチ ～アンケート調査からみえてきた高校生のデートDV～

公益財団法人 京都市男女共同参画推進協会

〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下る御射山町262
(京都市男女共同参画センター ウィングス京都内)

TEL: 075-212-7490 FAX: 075-212-7460



はじめに

SEXや恋愛の情報、みんなはどこで手に入れている？

弱音を吐く男子のこと、どう思う？

つき合っている彼氏や彼女にされていやなことってどんなこと？

恋愛やつき合いについて、

いまどきの高校生はどんなことを感じているのか、を

アンケート調査で調べた結果をまとめました。

「自分と同じだね」とか、「へえ、こんな人もいるんだ」とか、

感じ方はいろいろ。

この結果をみて、よりよい恋愛ができるように

なってもらえるとうれしいです。

平成 27 年 春

もくじ

- 1. 調査の概要 02
- 2. 男子のSEX(性)や恋愛の情報源はインターネットとDVD 03
- 3. 「弱音を吐く男子は×」は男子だけの思い込みだね 04
- 4. 二人の間に隠し事はダメって男子が約40%もいるよ 05
- 5. 知らず知らずに“デートDV”してるかも 06
- 6. 交際相手を“怖い”と感じたことのある女子は、23% 07
- 7. “デートDV”を『知っている』のは女子約25%・男子約17% 07
- 8. 「友だち・先輩」は強い味方 08
- 9. 「自分自身がデートDVについて知ること」が必要と60%以上が考えているよ 08
- 10. みんなからのメッセージ 09

1 調査の概要

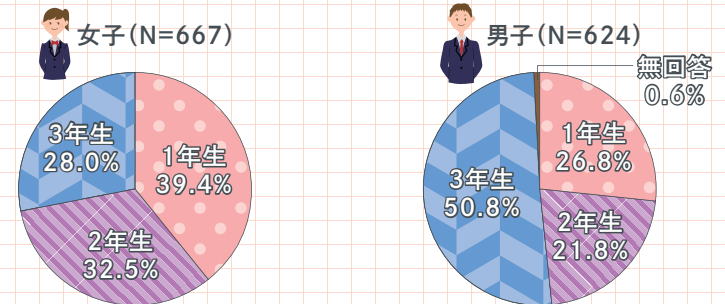
この冊子は、平成24年から26年にかけて京都市が行った『デートDVに関する意識調査』をもとに作成しました。

- 調査の目的** 京都市における若者のDVに関する意識や実態を明らかにする
- 調査対象** 京都市内の協力を得られた5校の高等学校の生徒
- 調査方法** アンケート調査
- 調査内容** 1.あなた(回答者)のことについて 4.交際相手との関係について
2.価値観・恋愛観について 5.デートDVの内容について
3.「デートDV」について

回収状況

配布数	回収数	有効回収数			有効回収率
		女子	男子	不明	
1,856票	1,296票	1,293票			69.7%
		667票 51.6%	624票 48.3%	2票 0.2%	

調査に答えてくれた生徒の学年



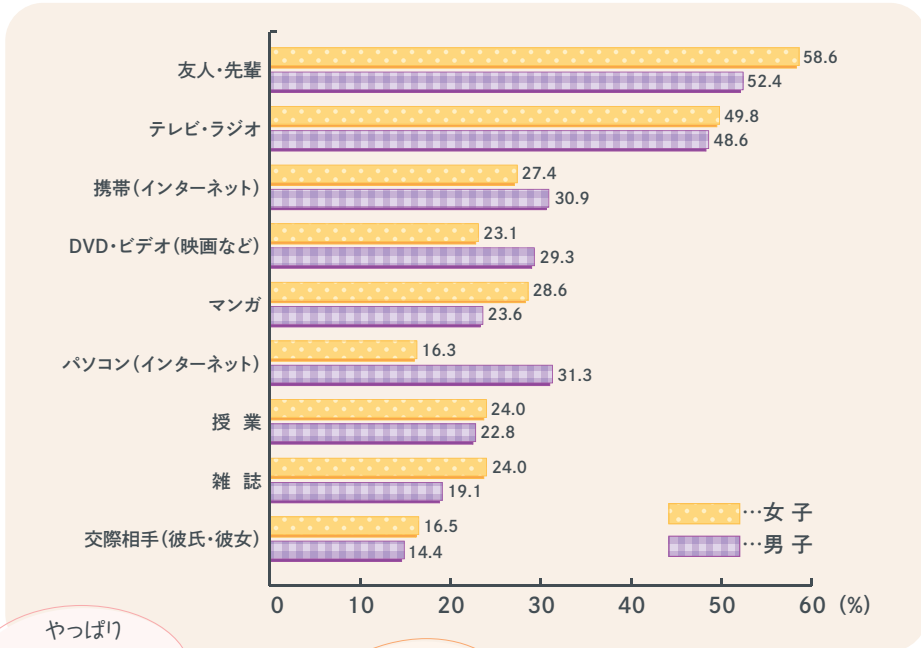
(参考資料)

- デートDVに関する意識調査(H26 京都市)
 - デートDVに関する実態調査(H24 京都市)
 - 男女共同参画通信Vol.38「若者のデートDVを防ぐために」(H27 京都市)
 - 男女共同参画通信別冊「デートDV」(H24 京都市)
- ※残部を無料(送料実費)で配布しています。詳しくはウイングス京都まで(TEL:075-212-8013)。

② 男子のSEX(性)や恋愛の情報源は

インターネットとDVD

『恋愛やセックスについての情報はどこから得てる?』



インターネットやDVDなどのSEXや恋愛についての情報をどう思う? ネットの世界は、現実では通用しないこともたくさん! どこまで目の前の恋愛に通用するかな?

③ 「弱音を吐く男子は×」は

男子だけの思い込みだね

『こんな価値観・恋愛観をどう思う?』

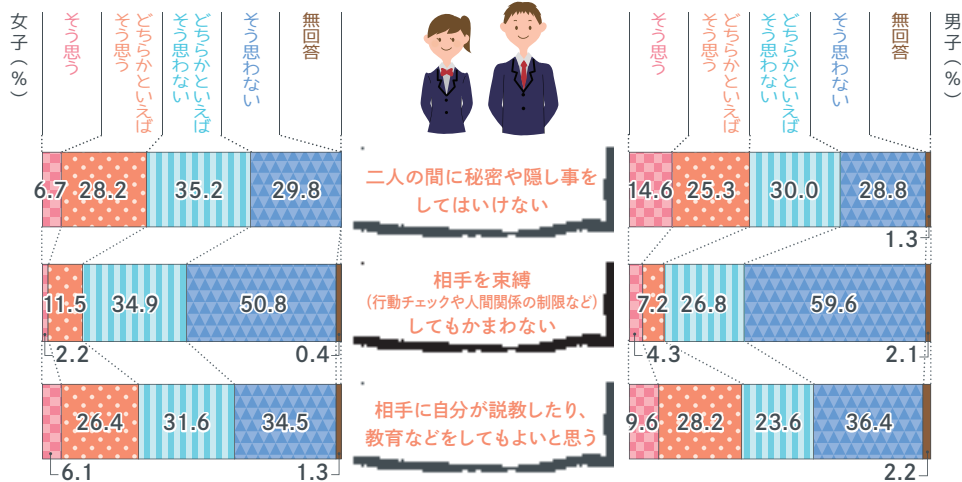


「子育ては女性に向いている」とか「男は強い方がカッコいい」という無意識の思い込みがあるみたいだね。今回の調査では、「男らしさ、女らしさ」にこだわりがある人ほど、暴力的な行動を肯定しがちな結果が出ているよ。

4 二人の間に隠し事は

ダメって男子が約40%もいるよ

『こんな価値観・恋愛観をどう思う?』



3人に1人以上が「秘密や隠し事はダメ」って思ってるんだね



つき合ったら、何でも話さなくちゃいけないのかな? なんかイヤな感じ



“説教”なんて、すごい上から目線!



「二人の間に隠し事はダメ」という考え方が、「相手を束縛してもいい」という意識につながっているよ。全部話さなくてもいいし、二人の時間とそれ以外の人と過ごす時間は、どちらも必要で、どちらも大切にしたいよね。

5 知らず知らずに“デートDV”してるかも…

『交際相手にしてもよいと思うものは?』



「部活と私、どっちが大切?」は女子の約40%がOKと答える



“殴ったり、けったり”はさすが「してもよい」は少ないね



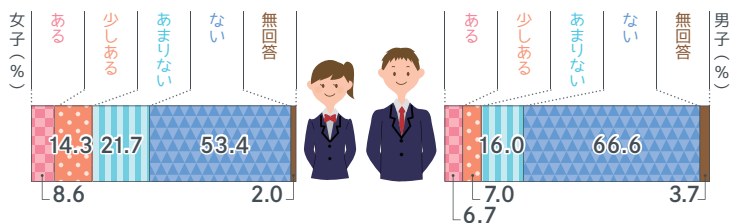
だって、好きだと不安になるし…



これらの項目は全て、デートDVです。意外に思うかな? ほかに「無視する」「大声でどなる」「相手の携帯電話をチェックする」「異性の友人と会うと怒る」「友だちに二人の性的な関係を話す」「無理やり抱きついてキスをする」なんかも、OKと思っている人が多かったよ。

⑥ 交際相手を“怖い”と感じたことのある女子は、23%

『交際相手を怖いと感じたことがある?』



怖い経験をしたことのあるのは、女子の方が多だね

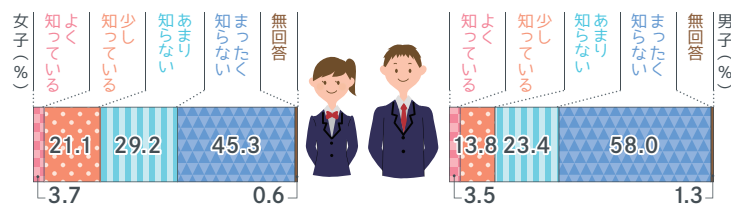
怖がらせてるなんて気づかなかった。フツーに話してるつもりだけだよ

恋愛相手が怖いってどういうこと?「私のことが好きだから」とか「彼女、やきもちやきだからな」でごまかしてはダメ。「怖い」と感じる自分の気持ちを大切にしたいね。

⑦ “デートDV”を『知っている』のは

女子約25%・男子約17%

『「デートDV」を知ってる?』



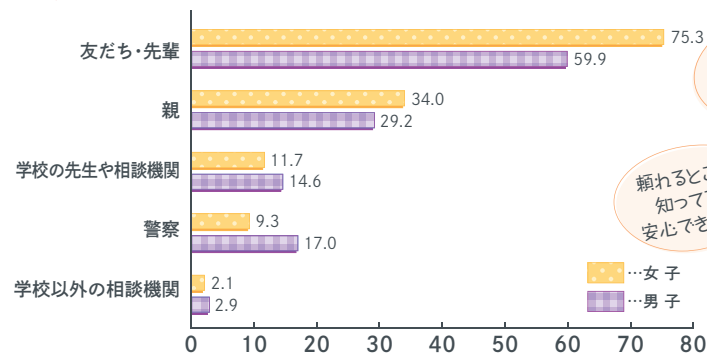
デートDVのこと「知らない」人がほとんどだ

言葉を聞いたことがない人も女子の6割強、男子の7割強なんだって

デートDVから身を守る一番大切で有効な方法は、デートDVについて正しい情報を持っていること。インターネットの『それってデートDVなんじゃない?』(NPO 法人エンパワメントかながわ)や『別冊男女共同参画通信』も参考にしな。公共機関で相談できるところもあるよ。

⑧ 「友だち・先輩」は強い味方

『デートDVの被害に遭ったら、だれに相談する?』



やっぱり、友だちや先輩に相談する人が多いね

頼るところを知っていると安心してきかも

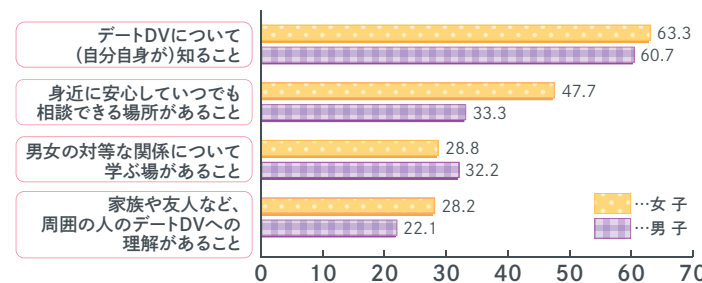
だけど、私たちだけじゃ助けられないよね...

相談されたらちゃんと正しいことが言えるようになっておきたいな

⑨ 「自分自身がデートDVについて知ること」が必要と

60%以上が考えているよ

『デートDVをなくすための方法は?』



デートDVのこと、きちんと知りたいと思ってる人がこんなに!

女子の半分近くが「身近に相談できる場所がほしい」と思っているんだね

●京都市男女共同参画センター「ウィングス京都」相談室

電話番号	開設日・時間等	備考
(075) 212-7830	月曜、木～土曜(祝日除く) 11:00～18:30 火曜(祝日除く) 11:00～20:00	無料の電話・面接相談あり。女性相談員が対応します。 (男性相談員による男性相談もあり) 受付は各30分前まで。

⑩ みんなからのメッセージ

今回、アンケートに協力してくれた高校生が、たくさんのメッセージを寄せてくれたよ。

- ★ デートDVはいけないことだと思った。絶対にやらないと誓う。(1年女子)
- ★ DVが私たちの身近なところで起きていることにもう少し理解をもって、正しい知識をもたないといけないと思いました。(1年女子)
- ★ デートDVは、肉体的だけでなく、精神的にも重くのしかかる問題なんだと思った。愛している人のことを暴力によって圧迫するということは絶対ありえないので、必ずなくなってほしい。(1年男子)
- ★ 男女平等にならないといけないと思った。女はこうで、男はこうと決めつけるのはダメです。(1年女子)
- ★ 軽い気持ちで行っていることが相手にとっては嫌なことになっているかもしれないという相手への思いやり、配慮が大切だと思うし、全ての人がかような事を軽くとらえるのではなく、知識や意識をもつことが根本的な問題解決につながると思う。(2年男子)
- ★ 私自身デートDVにあっていたのできつかった。半年間苦しんだけど友人たちが助けてくれたし、今の彼も助けてくれた1人なので周りの理解はありがたい。デートDVについて少しでも多くの人に知ってもらいたい。(2年女子)
- ★ 私は交際している彼氏がいます。でも、喧嘩になった時はちゃんと会って話し合おうと決めています。暴力だけは絶対しないと約束もしてるので、そういうことが大切だと思います。(3年女子)
- ★ デートDVということをはじめて聞いて、自分が交際したときに気をつけなければいけないと思った。(3年男子)



「デートDV」とは、交際中の若いカップルの間で起こる暴力のこと。

今回のアンケート調査で見えてきたのは、

デートDVについて知っている人がまだまだ少ないということ。
自分が被害にあっていることに気づいていないかもしれないよ。

それから、

男はこうすべき、女はこうすべきという思い込みが、
デートDVを起こしてしまうような恋愛観にもつながっているということ。
デートDVの中には女子から男子へ向けられるものもあるけど、
「怖い」と思うような経験をしているのは、女子の方が多かったね。

暴力について敏感なのも女子の方。

「これも暴力？」と思うものもあったかもしれないけど、

そんなところこそ考えてほしいな。

せっかく「好き」で付き合い始めたのに、

知らず知らずのうちに

暴力の被害者や加害者になっていたら、本当に悲しい。

すてきな恋愛のために、

この調査結果を考えるきっかけにもしてもらえたらうれしいです。